

JAMトピックス

価値を認めあう社会の実現に向け 省庁へ要請

世耕弘成 経済産業大臣

厚労省・労働基準局長へ直接申し入れ
指導、監督をさらに強化していくと回答得る



3月18日に安河内賢弘JAM会長が、経済産業省で世耕弘成大臣に「価値を認めあう社会へ」の実現に向けた要請書を直接手渡した。右から中井寛哉JAM書記長、安河内JAM会長、世耕経産省大臣、森本真治参議院議員

JAMは3月18日に「価値を認めあう社会への実現」に向けた要請を経済産業省と厚生労働省に行った。経産省では、世耕弘成大臣が直接対応（写真）し、厚労省では労働基準局長の坂口亨氏が対応した。

要請は安河内賢弘JAM会長、中井寛哉書記長、小林妙総合政策グループ長をはじめ、JA

M準組織内国会議員の森本真治参議院議員（広島県選挙区）も同席した。

大臣からは、「親企業が協力企業などから金型を回収し必要・不必要など選別し、協力企業の負担減になってきている」「下請けGメンをもっと周知し、指導・監督、取り締まりをさらに強化していく」などの回答を得た。



世耕大臣と意見交換する、安河内会長（中）
右・森本真治参議院議員、左・中井書記長



指導・監督を更に強化していくと世耕大臣



坂口労働基準局長（厚労省）に要請書を手渡す